

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名： (1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し 設計方法の見直し 】

路床改良を安定処理工法とすることによるコスト縮減

工事名： 鹿児島空港エプロン新設工事

概要： 鹿児島空港のエプロン新設工事は、路床改良工法として置き換え材を検討していたが、経済性・施工性に優れた固化剤を用いた安定処理工法を採用した。

効果：

現地盤を利用した、安定処理工法を採用したことで発生土砂を抑制することができた。

エプロン新設工事を、523百万円から492百万円に縮減。
(縮減額 31百万円、縮減率 約6%)

路床改良状況



当初断面

無筋コンクリート版	t = 22cm
上層路盤(粒調)	t = 15cm
路床置換	t = 120cm



見直し断面

無筋コンクリート版	t = 22cm
上層路盤(粒調)	t = 15cm
下層路盤(切込碎石)	t = 33cm
路床改良	t = 50cm